

ひとと自然が響き合い未来へ奏でる人道のまち やおつ



やおつ

# 議会だより

No.174 2019.5



## 八百津排水路整備工事現場 視察



### 八百津地区 雨水管渠整備事業

平成31年2月20日に八百津排水路整備工事現場  
を視察しました。

# ●平成31年度 一般会計予算など全議案を可決 一般会計60億8,800万円(対前年比0.3%減)でスタート

## ●「旧錦津保育園の跡地について」など6氏が 一般質問

平成31年第2回定例会は、去る3月4日に招集され、同月20日までの17日間の会期で開かれました。

本会議初日には、金子町長から施政方針演説がおこなわれ町政運営行政報告と提案理由の説明があり、続いて執行部から提出議案14件（条例関係5件、予算関係8件、その他1件）の議案説明が行われ、散会しました。

本会議2日目には、一般質問を行い、「旧錦津保育園の跡地について」など6名の議員が質問席に立ち、町長を始め執行部の見解をただしました。この様子はCCネットで生中継と録画放送されました。次いで、14議案に対する質疑が行われた後、各常任委員会に審査を付託し、散会しました。

本会議3日目の最終日には、平成30年度八百津町一般会計補正予算（第6号）の追加議案があり、議案説明と質疑が行われた後、総務民生常任委員会に審査を付託しました。その後、各常任委員会委員長から付託された案件について、審査の経過及び結果の報告があり、採決の結果、全議案を原案のとおり可決しました。次に、追加提案された1議案についての説明と質疑が行われ、採決の結果、原案のとおり可決しました。続いて、陳情事件2件について、陳情第1号は採択、陳情第3号は不採択とすることに決定しました。次いで、追加提案された議員提出議案第1号を、原案のとおり可決し、今定例会を閉会しました。

▼八百津町下水道事業の地方公営企業法の適用に伴い、関係条例の一部を改正するため。  
▼八百津町森林環境譲与税を原資とした基金を設置するため。  
▼学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

▼平成30年度八百津町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）  
▼平成31年度八百津町一般会計予算・特別会計予算・企業会計予算  
3ページ「会計別予算集計表」を参照。（詳細は広報「やおつ」4月号をご覧下さい。）  
▼平成30年度八百津町一般会計補正予算（第6号）  
寄附金の受入れに伴い、明日のまちづくり基金へ積立するため。

▼平成30年度八百津町一般会計補正予算（第5号）  
主な内容は次のとおりです。  
民生関係：就労継続支援自立支援費の追加。

▼八百津町消費税及び地方消費税の引上げに伴い、関係条例の一部を改正するため。  
▼八百津町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

国務省にかかる経費の追加。

農林関係：県営中山間地域総合整備事業負担金の追加。

商工関係：プレミアム付商品券事務にかかる経費の追加。

土木関係：道路除雪除去委託料、八百津地区排水路整備事業の変更契約による追加。

諸支出金：杉原千畝記念基金積立金、明日のまちづくり基金積立金、八百津地区排水路整備事業基金積立金の追加。

支拂費の追加。

**こんなことが決まりました**

# 平成31年度 会計別予算集計表

(単位:千円)

会計別	平成31年度	平成30年度	対前年度比較	
	予算額	予算額	額	率(%)
一般会計	6,088,000	6,104,000	△16,000	△0.3
特別会計	2,808,000	2,825,200	△17,200	△0.6
国民健康保険	1,426,000	1,380,000	46,000	3.3
後期高齢者医療	168,000	168,200	△200	△0.1
介護保険	1,214,000	1,277,000	△63,000	△4.9
公共下水道事業	—	399,800	皆減	皆減
農業集落排水事業	—	78,200	皆減	皆減
合 計	8,896,000	8,929,200	△33,200	△0.4
純 計	8,578,883	8,619,914	△41,031	△0.5
企業会計 (上水道)	収益的支出	398,621	412,454	△13,833
	資本的支出	360,545	266,864	93,681
企業会計 (下水道)	収益的支出	478,976	—	皆増
	資本的支出	290,966	—	皆増

(注) 純計: 他会計繰入金による会計間の二重計上分を調整した額の計。

(注) 平成31年度から公共下水道事業と農業集落排水事業は地方公営企業法に基づく企業会計へ移行しました。

## ▼町道の路線認定 (認定する路線)

石畠溜池線支線（伊岐津志）

## その他

### 陳情

陳情事件2件の結果は次のとおりです。

▼全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求めます。

陳情書

〔陳情者〕 日米地位協定を見直す会 共同代表 難波希美子  
〔付託委員会〕 総務民生委員会  
〔結果〕 採択

▼「岐阜県最低賃金を1,000円以上に引き上げを求める意見書」の採択を求める陳情  
〔陳情者〕 岐阜県春闌共闘会議  
〔付託委員会〕 建設文教委員会  
〔結果〕 不採択

▼全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書の提出について  
〔提出議員〕 柏植議員ほか2名  
〔結果〕 賛成多数により可決



### 問

#### 旧錦津保育園の跡地について

答 (藤本健康福祉課長)

### Q1

新しい錦津保育園が開設されたが、旧錦津保育園の跡地利用について伺う。

### 答 (藤本健康福祉課長)

锦津保育園の旧園舎につきましては、過去には園に鍵はかかっておらず、自由に入れることはありました。全国で

現在は、園の管理上、また子ども安全対策上、開放することは難しいと考えております。

### Q2

旧錦津保育園遊具の再利用について伺う。

答 (藤本健康福祉課長)

旧保育園の遊具について

は、毎年の保守管理・メンテナンスが当然必要となりますので、子どもたちの安全を第一に考慮し、残っている遊具については、建物の解体に合わせて撤去する予定です。



旧錦津保育園

### 答 (藤本健康福祉課長)

新保育園の休日の園庭開放について伺う。

### Q3

保育のニーズが高まる点から、保育士の現状と今後の人材確保に向け、どのように進められるのか伺う。

答 (藤本健康福祉課長)

園児数は、平成27年度の240人に

### Q1 問 保育士の現状と今後の確保策について

保育のニーズが高まる点から、保育士の現状と今後の人材確保に向け、どのように進められるのか伺う。



## 問 水道事業の今後の運営について

Q1 人口減少とともに水の需要量が減少し、経営を圧迫するのではないかと考えるが、これに対する対策はあるのか。

答 (各務水道環境課長)

国立社会保障・人口問題研究所が公表していますように、日本の人口は今後減少していきます。このため現在の水道事業型社会への移行や産業構造の変化などにより、水需要が減少傾向にあることから、水道料金収入は減少傾向となると考えられます。

水道事業は、料金収入をもつて経営を行う独立採算制を基本原則としながら、住民生活に身近な社会資本を整備し、必要なサービスを提供する役割を担っています。

一方、今日の水道事業は、施設の更新時期を迎えると同時に、耐震性強化によるライフライン機能の向上や、給水人口減少に伴う資産規模の適正化等が求められており、計画的に改良・更新を行いう必要があるなど様々な課題を抱えています。

このような経営環境の変化に着実に対応するために、当町においても将来にわたって安定的に事業を継続するための、中長

期的な経営の基本計画である「経営戦略」及び「水道ビジョン」を策定し、これに基づく計画的で効率的な経営を行うこと、また広域連携も視野に入れて努めています。

Q1 人道精神の一層の啓発について

Q1 人道賞の創設をしていた研究所が公表していますように、子どもの表彰も加えていただくと、子どもたちの励みになると思うが、町執行部の考え方伺う。

答 (各務教育課長)

教育委員会では、夢・志を持たせ生きる力の育成や地域や社会の発展に貢献できる力の育成などの方針を定め、子どもの教育に取り組んでいます。

町として、小さな親切運動のように、子どもたちの行為を表彰してはどうかというご提案ですが、この小さな親切運動は、「できる親切はみんなでしょう。それが社会の習慣となるように」をスローガンに、温かな行為をたたえ、そのモチベーションを高めるとともに、思いやりのネットワークを広げていくことが目的とされる全国的な運動です。

現在町が行っている、八百津青少年育成町民会議での「人道賞等」の表彰事業は、小さな親切運動の趣旨と相通するものが青少年の育成に奉仕し、顕著な功績

のあつた青少年育成者・団体、「社会参加活動、奉仕活動に尽力している青少年」、「青少年団体の発展に貢献し、著しい成果をもたらした青少年」、「善行のあつた青少年」などを讃えるものです。この表彰をきっかけにして小中学生のみならず、八百津町全体に思いやりの輪が広がればと考えます。

したがいまして、今後町として、人道賞は、小さな親切運動と同じ趣旨であることを伝え、多くの子どもを表彰できるよう努めたいと

思います。



## 問 長谷川泰幸議員

Q1 公共交通について

主な概要と取り組みのスケジュールについて

答 (永田地域振興課長)

本年度、八百津町の今後

の公共交通のあり方を検討するため、八百津町地域公共交通網形成計画の策定を進めてきました。

①地域住民の日常的な移動や

しみの活動を支える交通環境づ

くり。  
②公共交通間の接続を考慮した利用しやすい広域的な交通網の構築。  
③地域住民が公共交通を考え、主体的に関わっていく仕組みづくり。

Q1 市町村の中では低い金額に設定されている。今後の見直しや検討はされるのか。

答 (丹羽防災安全室長)

消防団は、地域住民を中心とした組織であり、防災体制の要として、地域の安全・安心の町づくりに大きな役割を担う重要な組織です。しかし、最近の社会情勢の変化、過疎化、少子高齢化、若者の流出などにより消防団員の確保が難しくなっています。

今後は、魅力ある消防団活動を推進するためにも、団員の処遇や出動手当等の見直しは、団員確保のための方策の一つだと考えておりますので、消防団本部や消防友の会の皆様のご意見を聞きながら、検討していく課題だと考えております。

消防団員の活動実態に応じた手当の支給はできないか。

Q2 消防団員の活動実態に応じた手当の支給はできないか。

答 (丹羽防災安全室長)

近隣市町村では、活動実態に応じて、手当に格差を設けているところもありますので、検討していきたいと

思います。



## 問 八百津町消防団の出動手当について

Q1 出動手当について

ケジユールについて

答 (永田地域振興課長)

本年度、八百津町の今後

の公共交通のあり方を検討するため、八百津町地域公共交通網形成計画の策定を進めてきました。

①地域住民の日常的な移動や

しみの活動を支える交通環境づ

## 黒岩千泰議員

### 問 蘇水公園グラウンドの駐車場について

Q1

イベントや各種スポーツ行事の開催時、蘇水公園グラウンドの駐車場が足りてないよう思うが、これをどう考えてみえるのか伺う。

答 (堀部教育長)

駐車場が足りているかとご質問ですが、平日は十分あります。土・日曜日についても、複数の種目の利用が多いときや、大きな大会がないときは、駐車場が不足していることはありません。



蘇水公園駐車場

### 問 杉原千畝記念館と周辺地域の整備について

Q1

人道の丘公園の50年後の位置づけをどのように考えてみえるのか伺う。

答 (金子町長)

公園内の環境整備につきましては、シルバー人材センターに委託し、桜の木をはじめ樹木の整備及び環境整備をしております。

また、アミューズゾーンの大型コンビネーション遊具は町内外からの利用が多く、平成29年度には大規模改修をして、皆さんに親しまれ、活用いただいております。さらに新丸山ダムの建設も進んできており、来園される方もさらに増加していくものと思われます。

今後の位置づけといたしましても、当初の目的を変えることなく存続するため、維持管理に努め必要な整備をしていきます。

## 柘植清貴議員

### 問 道路改良について

Q1

道路改良工事における生活性道路工事実施基準について伺うとともに、町内の対象案件の現状とその対応について伺いたい。

答 (藤掛建設課長)

正式には「道路新設及び道路拡幅工事の採択基準」であります。平成18年に定めています。

自治会からの要望は、町道の種類、用地買収の有無、沿線の住宅数や公共施設の有無、交通量、接続道路の種類などにより点数を算定します。点数は100点満点で、算定期数により事業を行なうかどうか判断するとともに、優先順位をつけます。また、事業にかかる金額が事業採択の判断材料になります。

道路改良の要望は、過去5年間で30件ほど出ています。毎年10路線ほどの道路改良工事を行っていますが、1路線の改良工事が完了するのに、4年から5年ほどかかります。財政厳しい折、新規路線の事業になかなか取り扱かれするのが実情です。

なお、事業の採択が困難な路線や、優先順位が下位の路線においては、全線の改良工事は無理でも、カーブ部分のみの拡幅工事や待避所の設置工事などはあります。

### 問 中学校のあり方について

Q1

人口減少が進む中、当町においても児童生徒の減少は顕著である。特に東部中学校の全校生徒は、平成31年度は31名で、次年度以降も減少していく。こうした現状の中、今後の中学校のあり方について考えを伺う。

答 (堀部教育長)

子どもたちは、どの地域に生まれようとも、どの子にも高い水準の教育が保障されなければならぬと考えています。現在、東部地区の小中学校では、地域の特性を生かした教育を進め、子どもたちは着実に成長しつつあります。

今年度、東部中学校は、県から「岐阜県優秀校」を受賞しました。人道教育に取り組んでいること、地域との関係を密にし、ふるさと教育を推進していることなどが評価されました。子どもたちは、豊かな心の面でも大きく育っています。学力質の高い教育が得られるように、

できます。この方が事業費も安く済みますし、結果的に早く工事ができる可能性があります。もし、要望を変更するというごとであれば、自治会の皆様と相談の上、検討させていただきま

す。そこで、要望を変更するといふことであります。お百津町を見据え、教育を考えることは大切であります。

Q2

適正規模の学校、一定以上の中学校の施設費の国庫負担等に関する法律施行令で、適正な学校規模の条件は、学級数がおおむね12学級から18学級までであること。  
・通学距離が、中学校にあつては、おおむね6km以内であること。

答 (堀部教育長)

が定められています。しかし、特別の事情があるときは、それぞの地域の様々な事情を考慮し決めることができます。また、次のような通達も出ておりります。  
・学校規模を重視するあまり、無理な学校統合を行い、地域住民等の間に紛争が生じたり、通学上著しい困難を招いたりすることには避けなければならない。  
・小規模学校には、教職員と児童・生徒との人間的ふれあいや個別指導の面で、小規模校としての教育上の利点も考えられるので、総合的に判断した場合、なお小規模学校として、存置し

充実する方が好ましい場合もあることに留意すること。

学校教育には、ある程度子どもがいることはベターです。

しかし、この弱点は指導いかんによって乗り越えられます。子どもの数が少なくても、小規模校の適正規模とは、子どもたちに生きる力が身につく規模と考えています。

地域住民や保護者の意向や考え方を聞く、意見交換会等についての考えを伺う。

**Q3**  
**（堀部教育長）**  
現在、小規模校のメリットを最大限に生かし、子どもの教育を充実させる手立てに力を入れています。一方で小規模校のデメリットを最小化する方策も講じています。

現段階で、統合を考えていなければ、行政主体の意見を交換する場を設けることは考えていません。町として、移住・定住に力を入れておりますので、今後も移住してみえる人が増え、子どもの数も増加する可能性もあると思われます。

今後のあり方については、時間をかけ、慎重に考えていきたく思います。必要となつたときには、ご意見をお伺いする機会を設けることも検討していくたいと思います。

## 加藤良治議員

## 問 ぎふ清流おもいやり駐車場制度について

**Q1**  
**（秋松農林課長）**  
間伐材でのベンチの設置につきましては、県森林・環境税事業の市町村提案事業にて、岐阜証明材推進制度に係る推進事業者を活用し、福祉施設、教育施設などに設置することはできますが、町中等への設置には難しいと聞いています。

**Q1**  
**（藤本健康福祉課長）**  
度は、車いすマークなどの障がい者が利用する駐車場において「健常者が駐車する等の不正利用がある。」「見た目上、障がいがあると分からぬ方が、利用しづらい。」といった問題を解決することを目的に、利用できる対象者の要件を設定し、利用証を交付する制度です。県では、ぎふ清流おもいやり駐車場制度として本年10月の制度開始に向けて、準備が進められています。

**Q1**  
**（吉田総務課長）**  
片方からの情報発信ではなく、双方向での情報発信ができる機能を有効に活用するなど、町民と行政との距離を縮める仕組みが必要ではないかと思うが、町執行部の考えを伺う。

**Q1**  
**（吉田総務課長）**  
双方向での情報発信ができる機能を有効に活用して、町内関係者に対してのヒアリング調査は、すでに37府県が導入しているという実績があり、今後、県森林・環境税事業及び平成31年度から開始される、森林環境譲与税を活用し、森林整備とともに、間伐材の活用についても模索していくたいと思っています。



広報紙・ホームページでもお知りください。周知・普及のため、広く町民の皆さんにもこの制度を理解していただくことが必要と、町

らせていきます。  
町の対応事務ですが、住民の利便の観点から利用証の交付事務について、当町も県と一体となって進めていきます。また、母

子手帳や身障者手帳等の交付時ににおけるご案内など、継続した周知活動も町の対応範囲であると考えております。

対し、もう少し詳しいお話を聞く必要があつたことから、問い合わせのメールをお送りしました。

「まちもん」につきましては、町民がスマホを使って、行政と連携できるソフトであると思っています。

しかし、投稿者である町民は無料アプリをダウンロードすることで、費用は掛かりませんが、それを受ける行政側にとつては、当然、費用は発生します。導入している愛知県のある町では、投稿数は月に平均2件であり、費用の割にその利用数は少なく、投稿数をもつと増やしたいとの感想を述べられていました。

「まちもん」に代表されるシステムには、防災面、特に効率的な災害調査に効果があるように思われます。現場から直接災害対策本部のパソコンに投稿されれば、調査漏れ、重複等も解消されると思います。ただし、インターネット上にすべての投稿内容が表示されることもあり、十分な検討が必要と考えます。

今後も町にとつて、有益なものを選択しつつ、町民の皆様との情報交流に努めたいと思います。



啓発活動についてですが、制度の周知・普及のため、広く町民の皆さんにもこの制度を理解していただくことが必要と、町

した情報は、一部ではあります。が、その匿名性のため、十分な対応をできかねる点があります。

一例ではありますが、ご意見に



町民駅伝競走大会（2/24）



町消防団入退団式（3/31）

議会事務局人事異動	
（転入）	（転出）
議会事務局書記	議会事務局書記
所 長 佐 合 久 喜	4月1日付で事務局職員の異動が ありました。
健康福祉課から 錦津出張所へ	（転入） （転出）

今後とも、宜しく  
お願い申し上げます。

町民の  
みなさん

## 八百津町議会を 傍聴してみませんか!!

6月定例会は**6月7日(金)**開会の予定です

詳細は議会事務局までお問い合わせください ☎ 43-2111(内線2302)

一般質問の様子はCCNet(地デジ12ch)で生中継・録画放送されます

# 議会日誌

(平成31年1月から3月)

## [1月]

- 6日 ○消防出初式
- 13日 ○成人式
- 18日 ○可茂衛生施設利用組合新火葬場工事現場視察
- 24日 ○議会運営委員会
  - 〃 ○議会全員協議会
  - 〃 ○建設文教常任委員会
  - 〃 ○臨時議会
- 25日 ※例月出納検査
- 26日 ○新丸山ダム転流工トンネル部貫通報告会
  - 〃 ○杉原千畝物語オペラ「人道の桜」
- 29日 ○可茂地域町村行政懇談会
- 30日 ○地方財政対策等説明会

## [2月]

- 13日 ○全国過疎地域自立促進連盟理事会
- 15日 ○可茂町村議会議長会正副議長研修会
- 17日 ○蘇水旗争奪剣道親善大会
- 20日 ○議会全員協議会
  - 〃 ○八百津排水路整備工事現場視察
- 21日 ○八百津高等学校デュアルシステム成果発表会
  - 〃 ※定例監査
- 22日 ○町森林組合総代会
  - 〃 ※定例監査
- 24日 ○町民駅伝競走大会
- 25日 ※例月出納検査
- 26日 ○町地域公共交通協議会
  - 〃 ※町指定金融機関監査
- 28日 ○議会運営委員会

## [3月]

- 2日 ○中濃地域農業共済事務組合議会定例会
- 3日 ○町人権講演会
- 4日 ○議会全員協議会
  - 〃 ○第2回議会定例会開会
- 5日 ○中学校卒業式
- 7日 ○議会運営委員会
- 8日 ○自治会長会
- 11日 ○第2回議会定例会本会議（2日目・一般質問）
- 12日 ○町立志式
- 14日 ○建設文教常任委員会
- 15日 ○総務民生常任委員会
- 16日 ○可茂聖苑新火葬場開場式典
  - 〃 ○国道41号上麻生防災中心杭打ち式典
- 19日 ○可茂地域一部事務組合議会定例会
- 20日 ○議会運営委員会
  - 〃 ○議会全員協議会
  - 〃 ○総務民生常任委員会
  - 〃 ○第2回議会定例会閉会
- 23日 ○保育園卒園式
  - 〃 ○親子教室修了式
- 25日 ○小学校卒業式
  - 〃 ○可見市議会議員研修会
  - 〃 ○名鉄広見線活性化協議会
  - 〃 ※例月出納検査
- 26日 ○消防友の会役員会
- 27日 ○県町村議会議長会評議員会
- 28日 ○可茂地域懇談会
- 31日 ○町消防団入退団式及び幹部講習会